



吉藤町内会 だより

令和5年(2023年)12月号

発行 松山市吉藤町内会

編集 青野 健治

yoshifuji.chounaikai@gmail.com



町内会HP

下期町内会費の集金

12月3日(日)、吉藤集会所において下期町内会費の集金を行い、各組長さんから町内会に納入いただきました。当日の納入金額は2,544,000円で、上期分を含めた令和5年度の町内会費収入は6,549,786円となり、前年度からの繰越を

を除く予算額7,022,000円の93.3%となっており、順調に推移しています。(今後、不動産会社からの金融機関振込分が追加計上されます。)

組長さんをはじめ町内の皆様のご協力に感謝申し上げます。

合同防災訓練への参加

11月19日(日)、潮見地区と久枝地区の合同防災訓練が鴨川中学校において開催され、吉藤町内会から防災士の役員が参加するとともに、町内からも多くの方が参加されました。

従来は潮見地区単独で潮見小学校で開催していましたが、指定避難所に指定されている鴨川中学校には両地区からの避難が想定されるため、今回は合同での訓練を実施することになりました。

参加者は、健康チェックや避難者名簿の提出を終えた後、炊き出し(うどん、おにぎり)を試食し、マイタイムラインアプリ体験、愛媛県版南海トラフ体験DVD閲覧、AED使用訓練、シェイ

クアウト訓練、避難所用テント設営訓練、消火訓練など多彩な訓練を体験しました。

比較的災害が少ないと言われている松山市ですが、将来いつの日か大きな災害に見舞われる恐れがあります。その時に備え、日頃から万全の準備をしておきましょう。



吉藤の町内のこと知っていますか

グーグルマップで吉藤周辺を見ていた時に、県道を伊台方面に上がる途中の堀江や白水台に曲がる交差点付近に、「餓鬼(がき)塚」という史跡を見つけ、どんな所か行ってみました。

潮見地区まちづくり協議会が設置した案内板には、次のように書かれています。

「その昔、この四ツ辻に大晦日の夜中になると金の鶏が現れると伝えられていました。そして『もし、この金の鶏を見ることができたら金銀財宝に恵まれて長者になれる』と言い伝えられていたが、誰もこの鶏を見た者はいませんでした。

ところが、このことを伝え聞いた欲の深い男が、何とかしてその金の鶏を捕まえたものと、大晦日に夜の更けぬうちから、この四ツ辻でじっと待ち伏せていました。

やがて、除夜の鐘が鳴り始めるとあら不思議、目もくらむばかりの金色に輝く鶏が現れたではありませんか。この欲の深い男は大喜びしました。

『見るだけでも長者になれるのなら、これを食べて自分の体に入れたら国中で一番の長者になれ



るだろう』と、その鶏を捕まえて食べてしまいました。

すると、その男はたちまち悶え苦しみ餓鬼道(がきどう:常に飢えと渇きに苦しむ亡者の世界)に落ちて死んでしまいました。村人はその亡骸(なきがら)をこの地に葬って『餓鬼塚』と名付けました。(中略)

今は、『南無阿弥陀仏』と刻まれた石碑のみが残っています。

古老の話によると、享保の大飢饉(だいききん)で亡くなった人の遺骸(いがい)を埋葬したものと伝えられています。

地域の悲しい歴史を今に伝える場所でした。